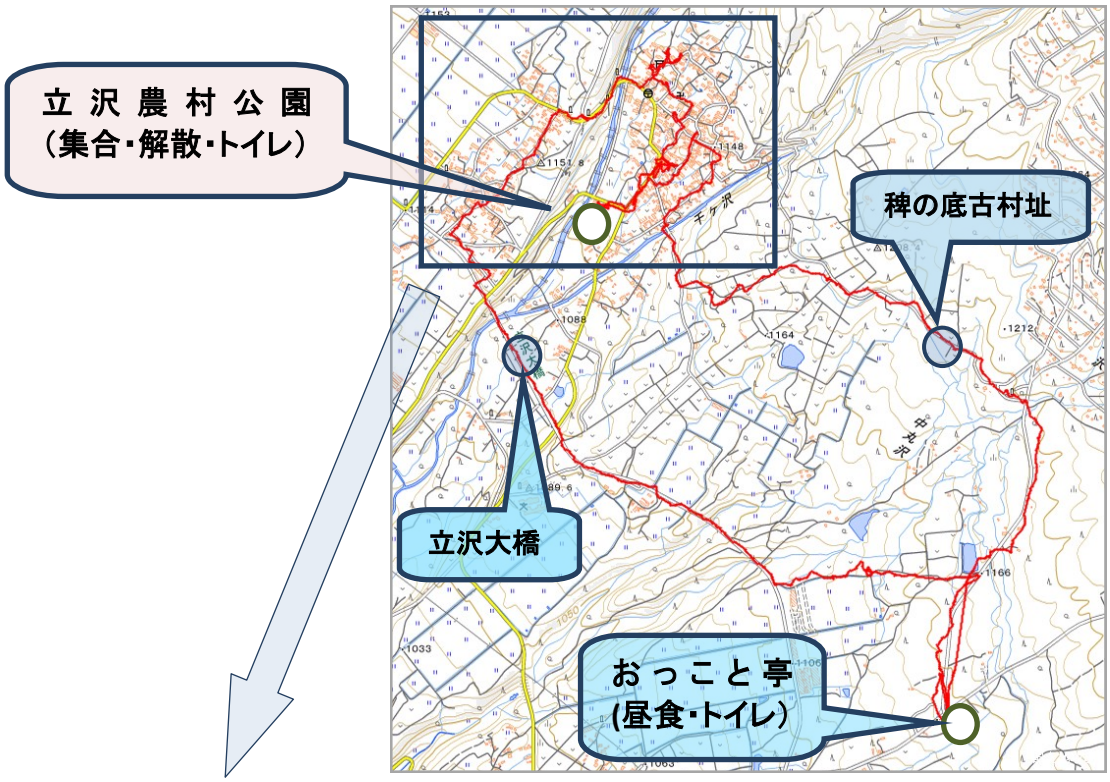
富士見町立沢の鏝絵巡り　鏝絵巡りシリーズ ：立沢編

・距離　約１３ｋｍ　　・所要時間　約４時間　　・スタート・フィニッシュ　立沢農村公園

・コース

立沢農村公園(トイレ）→立沢（鏝絵３件）→大山祇神社（鏝絵１件）→立沢（鏝絵３件）→立沢大橋 →おっこと亭(昼食・トイレ）→稗の底古村址→立沢（鏝絵３件）→立沢農村公園(トイレ）



今回は富士見の鏝絵どころと言われる立沢の鏝絵巡り。ここでは１３ヶ所で蔵の鏝絵を見ることができます。なかでもユニークなのは神社脇の蔵の妻壁に奔放に描かれた鏝絵、左官さんの遊び心に思わず喝采を送りたくなります。地元の方にいろいろとお話を伺うことができました。土蔵の用途が無くなっている中、鏝絵の多くは老朽化がすすんでいますが、補修したくとも職人さんがいなくなったりして保存は大変なんだそうです。土蔵に鏝絵を施したのも「当時の流行だったんだよね」とのこと。

立沢大橋からの眺望、そしてお昼にはおっこと亭でそばを楽しみ、謎に包まれた稗之底古村址を歩きましょう。シリーズの中でも一番標高の高いところを歩くこのコース、夏でもちょっと涼しさを感じられるのではないでしょうか。

① ちょっと古そうな蔵です。丑鼻は文字なのですが、これはその上のハナブカに鏝絵、波際の鷹そして月がカラフルに描かれています。

④ 手前の立木の枝で見にくいのですが、これは「松に鷹」。松の太枝に鷹が止まり、その頭上に松の枝葉。葉にはブルーを使っています。

⑥ 神社脇にあった蔵、神社の境内から間近に見ることができます。丑鼻には「波に亀」、妻壁の白い壁面を大きく使って描かれているのはどういう天狗と仙人ですかね。どんな物語が込められているのでしょう？こんなに奔放に描いて、作者の職人さん、完成時にニンマリしたんでしょうね。

② 丑鼻はありませんが、ハチマキには立派に若葉が描かれ、妻壁には亀の親子がかわいい。ていねいに仕上げた蔵でした。

⑤大黒様が袋の口を手と口で広げ、そこに恵比寿様が粒金なしきものを箕ですくい込んでいます。こんな作業、子どもの頃させられたな、懐かしい！

③ ここにもていねいに仕上げられた土蔵。ハチマキの若葉や窓上の装飾など凝っています。そして丑鼻、黒い鯉の滝登りははじめて見ました。

⑧ 道路から奥まった蔵でしたが家主の方がおられたので庭に入って撮影させていただきました。モノクロで太鼓につがいのニワトリ、これは珍しい。

⑦ 立派な門構えの脇に立つ立派な蔵。左右の丑鼻にそれぞれ大黒様と恵比寿様、妻壁には連理の鶴が上品に描かれています。なまこ壁も立派。

（八ヶ岳歩こう会編）